

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

テーマ展

大型器台とその時代

西部瀬戸内の弥生文化圏を探る

平成29年3月に愛媛県指定文化財(考古資料)になった大型器台という弥生土器から当時の西部瀬戸内の文化圏を探ります。

期 間／平成29年9月30日(土)～平成30年2月25日(日)
場 所／考古展示室
観覧料／常設展示観覧券が必要

松山市北井門遺跡出土
大型器台



テーマ展

相撲の歴史と民俗

館蔵品を中心に

「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」で西予市において、相撲が開催されることから、相撲の歴史・文化を紹介します。

期 間／平成29年9月30日(土)～11月26日(日)
会 場／文書展示室
観覧料／常設展示観覧券が必要



初代朝汐太郎化粧廻し姿(竹に雀)

考古

おおがたき だい 大型器台 (愛媛県指定文化財)



出土地:土壇原北遺跡(松山市上野町)
年代:弥生時代後期
法量:器高74.5cm 口径48.4cm
所蔵:愛媛県教育委員会/当館保管

この土器は高さが約70cmもある大きなものですが、何に使ったと思われますか？

「器台」といって、何かを載せる土器ですが、何を載せたかはわかっていません。しかし、この土器が発見された土壇原北遺跡(松山市)の周辺では、弥生時代の土壇墓というお墓約50基が発掘調査で見つかっており、この土器はお墓での祭祀(マツリ)に使用されたことが推測できます。

土器をもう少し詳しく見ると、エンタシス状の胴部には丸い透かし孔が7段に規則的に穿たれ、その間には沈線文が施されています。口縁の端部には粘土を貼りつけた棒状浮文と竹を半分に割った半裁竹管文が施されており、非常に装飾性に富んでいます。

このような大型器台は県内で約30例が確認されていますが、近年の研究で、松山平野を中心に分布し、伊予で成立した土器であることがわかっています。また、その影響を受けた大型器台が周辺の周防、豊前、豊後、日向といった西部瀬戸内地域及びその周縁の土佐、肥前でも確認されています。

なお、このように弥生時代後期の西部瀬戸内の弥生文化を象徴する土器として、本資料を含めた4点の大型器台が県指定文化財(考古資料)に平成29年3月に指定されました。

(専門学芸員 富田 尚夫)

本資料は、テーマ展「大型器台とその時代—西部瀬戸内の弥生文化圏を探る—」(会期:9月30日~平成30年2月25日)で展示します。

歴史

加藤嘉明自筆書状

松山城主加藤嘉明が、丹波園部藩主小出信濃守吉親に宛てた自筆の書状です。

吉親が明後日15日の晩に来訪することを喜ぶとともに、来る22日の晩にも松平山城守忠国(丹波篠山藩主)、松平伊賀守忠晴(忠国弟)、戸田采女正氏信(忠国正室の兄弟)を招待したので是非おいでいただきたいと伝えています。15日と22日の両日が難しい場合は、15日をキャンセルしても22日には必ず来てほしいと言っています。吉親と同じ丹波国の藩主とその縁者ということが関係しているのでしょうか。

寛永3年8月、大御所徳川秀忠と將軍家光は後水尾天皇の二条城行幸のため京都に上洛し、10月に拝謁します。これに諸大名も供奉して京都へ向かいましたが、書状中の5名は全員従っており、この時の遣り取りの一つと考えられます。

この上洛に合わせ、供奉した諸大名への叙位・任官が相次いで行われ、嘉明も侍従に任じられました。吉親も対馬守に任じられ、他にも宇和島藩主伊達秀宗の従四位下昇進などもありました。嘉明は任官にあたり朝廷へ銀子や太刀を贈っており、進物目録にその詳細が見えます。

徳川家による朝廷・幕府・大名の秩序形成が進む時代にあって、將軍家への忠節を示しつつ、こうした機会に交流を持つという、大名たちの上洛時の貴重な1コマをうかがうことができます。

(専門学芸員 山内 治朋)



年代:寛永3(1626)年8月13日
法量:縦29.3cm 横46.5cm
所蔵:当館蔵

本資料は、特別展「高虎と嘉明」(会期:9月30日~11月26日)で展示します。

特 別 展

高虎と嘉明

関連イベントのご案内

平成29年9月30日(土)~11月26日(日)
(休館日:10/3・10・16・23・30・11/7・13・20・27)

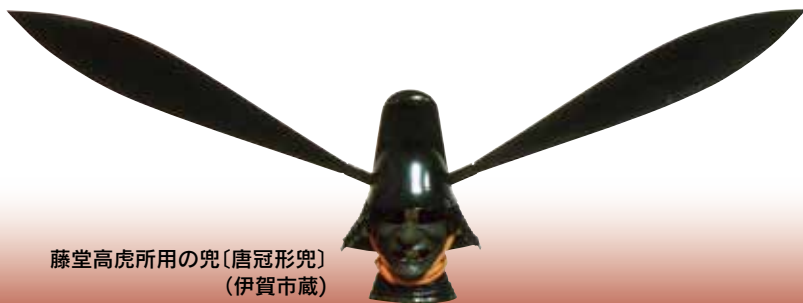
藤堂高虎像(複製) [原資料:西蓮寺蔵]

加藤嘉明(複製) [原資料:藤栄神社蔵]

戦国乱世から天下太平に向かう時代、伊予を治めた武将に藤堂高虎と加藤嘉明がいます。この両雄は、伊予の近世の礎を固めるうえで大きく貢献したといえるでしょう。本展では、高虎と嘉明に注目し、関連資料を紹介するとともに、彼らが生きた時代の伊予の姿についても振り返ります。



加藤嘉明宛の豊臣秀吉朱印状(当館蔵)



藤堂高虎所用の兜(唐冠形兜)
(伊賀市蔵)

展示構成

1. いくさの世 (秀吉のもとで/家康のもとで/豊臣から徳川へ)
2. 太平にむけて (伊予の知行/城・町の建設/村方の整備/寺社の保護/伊予八藩)

23周年

歴博開館記念イベント



平成29年11月12日(日)
常設展・特別展観覧料無料!

れきはく市・はに坊のどんぐりマルシェ

時間/10:00~16:00

れきはく☆おもち配り

参加費/無料
時間/9:00~
場所/展示室入口

※おもちゃやお菓子が無くなり次第終了します。
※会場の都合により、制限を設けることもございます。
時間に余裕を持ってお越しください。



れきはくのおもしろ

7月15日から始まった特別展「トリックアート 大江戸物語」は様々な層のお客様に楽しんでいただくことができました。「れきはく☆おもしろ写真作品展」や会期中の土曜日に行った「浮世絵摺り体験」も大盛況。れきはく恒例の夏イベント「お化け屋敷パート8」、お盆期間に行われた「れきはく子ども夏まつり」も多くのお客様に足を運んでいただき大盛況でした。たくさんの皆様のご来館、誠にありがとうございました。



友の会よりお知らせ

10月1日より友の会会費が半額になります。友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合は、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

お問い合わせ先:
友の会事務局 0894-62-6222 山下

平成29年度 歴史文化講座 下期

歴史講座 13:30~15:00

- 講座番号④特別展関連講座①「高虎と嘉明の時代－特別展の見どころ－」
日 時:10月7日(土)
講 師:山内 治朋(当館専門学芸員)
- 講座番号⑤源氏物語講座①「須磨の絵日記の効用－弘徽殿女御と秋好中宮－」
日 時:10月14日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号⑥特別展関連講座②「伊予時代の藤堂高虎－関ヶ原合戦以後を中心に－」
日 時:10月15日(日)
講 師:藤本 誉博氏(一般財団法人今治文化振興会今治城学芸員)
- 講座番号⑦特別展関連講座③「加藤嘉明の伊予松山城」
日 時:10月29日(日)
講 師:西村 直人氏(松山市教育委員会文化財課)

古文書講座 13:30~15:00

- 講座番号③特別展関連講座④「佐伯家文書を読む1－加藤嘉明の地域支配－」
日 時:11月5日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸課長)
- 講座番号④特別展関連講座⑤「佐伯家文書を読む2－加藤嘉明の地域支配－」
日 時:11月26日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸課長)

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号③「松山平野の弥生土器を用いた儀礼」
日 時:11月23日(木・祝)
講 師:梅本 謙一氏(公財)松山市文化・スポーツ振興財団松山市考古館
- 講座番号④「大型器台の美と文化財としての価値」
日 時:平成30年2月3日(土)
講 師:谷若 倫郎氏(愛媛県教育委員会文化財保護課)

民俗講座 13:30~15:00

- 講座番号③「芝居絵馬に見る歌舞伎ドラマチック・ストーリー」
日 時:平成30年1月21日(日)
講 師:宮瀬 温子(当館職員)
- 講座番号④特別展関連講座①「四国遍路と伊予の霊場」
日 時:平成30年3月10日(土)
講 師:胡 光氏(愛媛大学法文学部教授)
- 講座番号⑤特別展関連講座②「四国遍路展のみどころ」
日 時:平成30年3月17日(土)
講 師:今村 賢司(当館専門学芸員)
- 講座番号⑥特別展関連講座③「お四国賛歌－へんろ新聞とともに17年－」
日 時:平成30年3月21日(水・祝)
講 師:滝口 伸一氏(元月刊へんろ編集者)

愛媛・大分交流講座

- 「鼎談!大型器台から探る弥生時代の豊予交流」
日 時:12月16日(土)13:20~16:05
講 師:下條 信行氏(愛媛大学名誉教授)
坪根 伸也氏(大分市教育委員会)
松村 さを里氏(公財)愛媛県埋蔵文化センター)

博物館ボランティア養成講座① 13:30~15:00

- 「常設展示解説(原始古代・中世)」
日 時:平成30年1月28日(日)
講 師:富田 尚夫・山内 治朋(当館専門学芸員)

体験講座

- 講座番号⑦「史跡めぐり『伊予市・郡中の町並み歩き』」
【定員:30名】日 時:10月21日(土) 10:00~15:00
講 師:門田 眞一氏(伊予市文化協会会長)
【現地集合】参加費:1,500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑧「しめ飾り作り」
【定員:20名】日 時:12月9日(土) 13:30~15:30
講 師:水谷 権一氏(宇和島高齢者創作館)
参加費:200円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑨「史跡めぐり『大洲市立博物館「中江藤樹展」を見る』」
【定員:30名】日 時:12月10日(日) 9:00~12:00
講 師:山田 広志氏(大洲市立博物館学芸員)
【現地集合】参加費:無料
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑩「やじろべえを作ろう」
【定員:15名】日 時:平成30年1月14日(日) 13:30~15:00
講 師:酒井 久夫氏(木づかい工房)
参加費:1,000円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 講座番号⑪「練香をつくってみよう」
【定員:10名】日 時:平成30年2月25日(日) 13:30~15:30
講 師:橋本 典子氏(香十)
参加費:500円程度
対 象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴

申込方法 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

お問い合わせ **企画普及グループ・歴史文化講座係**
TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

開館記念日

11月12日(日)

当館は11月で開館23年目を迎えます。開館を記念し開館イベントを実施いたします。常設展・特別展が無料でご利用いただけます。ぜひ、博物館へお越しください。

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般		団体(2割引)	
		大人(高校生以上)	510円	410円	中学生以下
常設展	65歳以上	260円	210円	観覧無料	
テーマ展					
新常設展					

※特別展の観覧料はその都度定めます。※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。
ご利用の際は、再度お確かめください。

展示スケジュール

2017.9-2018.3

年	月	日	展示内容	備考
2017	9			常設展 新常設展 和彫藝による弘法大師海舟の昇密(空海)内海清美展(後半)
	10		特別展 「高虎と嘉明－転換期の伊予と両雄－」 9月30日(土)~11月26日(日)	
	11		▶「開館記念イベント」11月12日(日)	
2018	1		▶「新春イベント」平成30年1月2日(火)・3日(水)	
	2		特別展 「四国遍路の世界遺産化に向けて 四国遍路と愛媛(仮)」 平成30年2月17日(土)~4月8日(日)	
	3		▶「おひなさまイベント」平成30年3月3日(土)・4日(日)	

※行事や展示、日程などが、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2017.9-11

9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30		
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営・指定管理者 いよてつ総合企画

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成29年8月31日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館